



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 東部児童相談所新築工事	階数	地上4F
建設地	横浜市鶴見区生麦三丁目544番31他	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2023年11月28日
敷地面積	1,420 m ²	作成者	株式会社 渡辺建築設計事務所
建築面積	723 m ²	確認日	2023年11月28日
延床面積	2,635 m ²	確認者	株式会社 渡辺建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.6 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★	30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0			
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.6 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2			

3 設計上の配慮事項		
総合 横浜市鶴見区に計画された児童相談所である。環境負荷低減及び景観に配慮した計画としている。		その他
Q1 室内環境 ・遮音/断熱性能のよいサッシを使用している。	Q2 サービス性能 ・耐用年数の長い建材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・屋上への積極的な建物緑化により、生物環境の創出や温熱環境の向上に配慮している。
LR1 エネルギー ・断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・再利用可能な部材を採用し、非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明は設置せず、周囲への漏れ光に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)東部児童相談所新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 34 %削減



一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2023年12月5日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱性能を上げ、建物の熱負荷を抑制している

③高効率機器を採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を採用

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯耐用年数の長い内装仕上げ材を採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱自生種や地域の郷土種の保全に配慮した緑地づくり

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)東部児童相談所新築工事

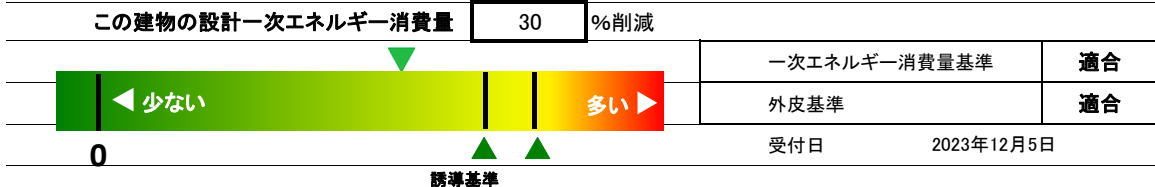
建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱性能を上げ、建物の熱負荷を抑制している

③高効率機器を採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【健康・安心】

4

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4を超.(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰耐用年数の長い内装仕上げ材を採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱自生種や地域の郷土種の保全に配慮した緑地づくり

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)東部児童相談所新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質			-		-			3.0
Q1 室内環境			0.40					3.0
1 音環境		3.6	0.15	3.3	1.00			3.6
1.1 騒音		3.0	0.44	3.0	0.50			-
1.2 遮音		4.4	0.44	3.6	0.50			-
1 開口部遮音性能		5.0	0.75	5.0	0.30			-
2 界壁遮音性能		3.0	0.25	3.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音		3.0	0.13	-	-			-
2 温熱環境		2.4	0.35	2.7	1.00			2.4
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.7	0.50			-
1 室温	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.47	3.0	0.63			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.30	5.0	0.38			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.24	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	3.0	0.20	3.0	0.20			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ ⑨温熱環境	1.0	0.30	1.0	0.30			-
3 光・視環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.0	0.30			-
1 昼光率	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.60	3.0	0.50			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			-
1 昼光制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	1.00	3.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.15	3.0	0.15			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.25	3.0	0.25			-
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.54	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気		3.0	0.34	3.0	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.40	3.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.21	3.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.40	3.0	0.33			-
4.3 運用管理		4.0	0.13	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	0.50	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ ⑪空気質環境	5.0	0.50	-	-			-
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		3.0	0.40	3.0	1.00			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.21	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.21	3.0	1.00			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.58	-	-			-
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.21	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.21	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.58	3.0	0.50			-
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防 災 ⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防 災 ⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防 災 ⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性		3.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防 災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防 災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 電気設備	防 災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防 災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
5 通信・情報設備	防 災 ⑯信頼性	3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性		2.8	0.30	3.6	1.00			2.9
3.1 空間のゆとり		2.4	0.19	4.2	0.50			-
1 階高のゆとり		2.0	0.60	5.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.19	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性		3.0	0.62	-	-			-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.2

(仮称)東部児童相談所新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.2

スコアシート			実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目			<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	3.0	
1	生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		4.0	0.30	-	-	4.0	
2	まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0	
3	地域性・アメニティへの配慮					2.0	0.30	-	-	2.0	
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.7	
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	4.1	
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0	
2	自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		2.6	0.10	-	-	2.6	
3	設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		4.6	0.50	-	-	4.6	
4	効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0	
	集合住宅以外の評価					3.0	0.63	-	-	-	
	4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
	集合住宅の評価					3.0	0.37	-	-	-	
	4.1	モニタリング		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.6	
1	水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4	
	1.1	節水				4.0	0.40	-	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	
		1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	
		2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減					3.8	0.60	-	-	3.8	
	2.1	材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				5.0	0.20	-	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20	-	-	3.3	
	3.1	有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	-	
		1	消火剤			-	-	-	-	-	
		2	発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-	-	
		3	冷媒			3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.2	
1	地球温暖化への配慮					3.7	0.33	-	-	3.7	
2	地域環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0	
	2.1	大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	
		1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	
		2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	
		3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	
		4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	
3	周辺環境への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1	
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	
		1	騒音			3.0	1.00	-	-	-	
		2	振動			-	-	-	-	-	
		3	悪臭			-	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	
		1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	
		2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-	
		3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	
	3.3	光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-	
		1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策			4.0	0.70	-	-	-	
		2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	
上記以外の重点項目							-	-	-	-	
<事務用途>							-	-	-	-	
知的生産性向上への取組			快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		1.0	-	-	-	-	
<住宅用途>							-	-	-	-	
健康と安心							-	-	-	-	
	1	化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
	2	適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
	3	結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-	-	
	4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	1.0	-	-	-	-	